

### 平成28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	北アルプス奉納太鼓
事業主体 (連絡先)	北アルプス奉納太鼓実行委員会
事業区分	教育、文化、観光の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	717,933 円 (うち支援金: 572,000 円)

#### 事業内容

大北地域に縁のある喜多郎氏の総合プロデュースのもと、「北アルプス奉納太鼓」をメインイベントとして、北アルプスの山々や自然への感謝を込め、北アルプスに夕日が沈む夕刻から翌日、東の山々に日が昇るまでの間途切れることなく太鼓を打ち続けた。地域内外から参加した多くの皆さんも一緒に太鼓を打ち鳴らし、交流親睦を深めた。



【地元子供連による演奏】

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①北アルプスという大北地域ならではの地域特性に着目したイベントの開催により、圏域の魅力の発信に寄与できた。
- ②本年は初めて国営公園で開催したところ、国営公園の誘客につながったとともに、国の施設を活かした地域連携イベントのモデルケースとなった。
- ③地元の子供チームによる演奏は観衆から高い賞賛を浴び、出演した子どもらの自信となり、今後の活動に拍車がかかった。
- ④「信州山の日」関連イベントとして、長野県の魅力、山岳観光の魅力の発信につながった。

#### 【目標・ねらい】

- ①大北地域の魅力発信
- ②観光客誘致による地域活性化
- ③和太鼓の文化継承、人材育成
- ④太鼓関係者による一体感醸成
- ⑤県と協働で「信州山の日」のPR

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後も「山岳県・信州」をアピールする県とも連携を強化し、山岳観光の目玉になれるよう事業展開していく。また、長野県太鼓連盟とも連携し、全県、全国から山、大地、自然に対する感謝の気持ちを太鼓を通して伝える「奉納太鼓」をメジャーなイベントに育てていく。

**※自己評価【 A 】**

**【理由】**  
 国・県との協働、世界的な音楽家の喜多郎氏の全面支援等により定着化しつつある。今後更に太鼓を通じ地域の活力向上につながるよう取り組んで行く。  
 来年度は、情報発信について更に工夫改善をしていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。  
 「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた  
 「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある